

RIFCR研修 in 阪神のご案内

平成26年6月に引き続いて、RIFCR研修を開催いたします。
参加ご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。

日時：平成27年2月21日（土） 9:00～18:30

場所：尼崎市女性センター・トレピエ

（尼崎市南武庫之荘3-36-1 Tel: 06-6436-6331）

対象：こどもに接する職業の方（定員40名）

講師：ChildFirst Japan（認定NPO法人 子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク）

RIFCR（リフカー）研 修

◇ RIFCR（リフカー）とは？

児童虐待通告義務者が性虐待の疑われる子どもに対して、どのように面接し、何を聞くべきで、何を聞くべきでないかということを半構造化した虐待発見時の面接プロトコルです。

◇ RIFCRがもたらす効果

- ①学校や幼稚園・保育所、病院などで、子どもから性虐待について相談されたとき、打ち明けられたとき、あるいは、性虐待を疑うような言動が子どもに見られたとき、どのような情報をどのように聴いて児童相談所に通告すればよいのでしょうか。子どもにやさしい聴き方を学べます。
- ②児童相談所や警察など、性虐待の通告・通報を受ける機関の職員は、司法面接を行う前の段階で子どもからどのように話を聴くべきなのでしょう。通告後、学校などの現場で初めて子どもに会ったとき、どうするのか、その後の司法手続きにマイナスにならないための注意点などを学ぶことができます。
- ③子どもから性虐待被害について打ち明けられることは、周囲のおとなにとってもショックなことです。こうした場面で子どもたちにどのような対応をすればよいのかについて具体的に知ることにより、学校や児童福祉の現場の閉塞感や無力感を減らし、適切な通告・通報へとつなげ、子どもたちを迅速に救うことができます。
- ④子どもに何度もつらい思いをさせることなく、通告・通報に必要な最低限の事実だけを聞き出し、子どもの負担を最小化することができます。
- ⑤「RIFCR研修」のプログラムには、性虐待を受けた子どもに関する基礎的なカリキュラムが他にも含まれており、被虐待児に関する理解を深めることができます。
- ⑥RIFCRを理解することにより、司法面接や性虐待被害児診察の必要性に関する認知度を高めることができます。

RIFCRを使った事実確認

R=Rapport（話のできる関係を築く）：安心して話せる環境を整える。子どもが問題を起こしているのではないことを伝える。

I=Issue Identification（問題点の確認）：心配や観察したことを伝える。

F=Facts（事実確認）：「誰が」「何をしたのか」についてのみたずねる。

C=Closure（終結）：子どもの安全を確認する。次にすることを子どもに伝えておく。

R=Reporting（通告）：電話で通報の後、報告書を送る。

お申し込み・お問い合わせは、氏名・所属・職種をご記入の上で事務局までメールでお願いいたします。なお応募者多数の場合は、受講者の職種のバランスに配慮して事務局で選考させていただくことがあります。予めご了承ください。

事務局：兵庫県立塚口病院 こども家族支援室(cfaso@hp.pref.hyogo.jp)

今回の研修は兵庫県立塚口病院が企画し、尼崎市女性センター・トレピエのご協力をいただいで開催します。